

今月の表紙

米作りをしている方々にとって、一番の喜びの時。それが刈り取りの時だと思います。

今年も8月中旬ごろから、田んぼはたくさんの実を付けた稲穂で黄金色に輝き出し、8月末辺りには稲刈りの姿を見かけるようになりました。

9月のこの日も、抜けるような青空が広がる稲刈り日和となり、市内のあちらこちらで刈り取りが行われていました。

表紙の写真は、美和地域の鷺子地区での稲刈りの様子。こちらのお宅では、東京に住むお孫さんが、休みの日に帰省して手伝っていらっしやるどころでした。



常陸大宮済生会病院 建設状況カメラ -平成17年10月1日現在-



●病院ホームページもご覧ください。
アドレス <http://www.ho-saisei.jp>

広報 常陸大宮 10月 第13号

発行日 平成17年10月15日

編集・発行

常陸大宮市総務部情報政策課

〒319-2292

茨城県常陸大宮市中富町3135-6

☎ 0295(52) 1111 ☎ 0295(53) 6010

E-mail email@city.hitachiomiya.lg.jp

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

□広報常陸大宮は、ホームページでも
ご覧になれます。

～美和地域・仲島地区～

コミュニティ助成事業を活用して 地域伝統芸能用備品を購入



美和地域・仲島地区「仲島組祭りばやし保存会」では、これまでの活動を維持し、後継者の育成と農村文化の伝承を目的として、平成17年度のコミュニティ助成事業を受けて、

屋台飾り提灯、祭神天、長胴太鼓、篠笛などの地域伝統芸能用備品を購入しました。

この助成は、財団法人自治総合センターが地域住民の行う自主的なコミュニティ活動に必要な施設・設備の整備のために助成をすることによって、地域社会の健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報を行うものです。

今後、仲島地区内の小学生や中学生、高校生に伝統文化が継承され、地区のコミュニティがさらに活性化されることが期待されます。

生ゴミ堆肥勉強会を開催

8月30日、御前山市民センターにおいて、御前山地域女性団体連絡会（会長 川崎きみ江）主催による「生ゴミ堆肥」についての勉強会が行われました。

以前から伊勢畑女性会では、毎年ミラコンを自作し地域の方にお分けする活動をしており、ミラコンを混ぜ込んだ力強い土壌で作られた野菜は、とてもおいしく甘みがあると評判で、しかも環境に優しいと喜ばれていました。

そこで、よりいっそう理解を広めようと、市内の女性団体を対象に、EMアドバイザー（益子町在住）の河原弘道先生を招いて、作り方とその実例についての講話が行われました。各地区から集まった30人を超える参加者は、改めて生ゴミ堆肥のパワーを知り、自然環境の浄化に役立たせようと、真剣な表情で講話に耳を傾けていました。

※ミラコンとは、ぬかやもみ殻などと有効微生物群（EM）を混ぜ合わせて発酵させたもので、生ゴミにふりかけておくと肥料となります。



常陸大宮市の人口（9月1日現在・推計常住者）

総人口47,753人（男23,258人、女24,495人）
世帯数16,270世帯



古紙配合率100%再生紙を使用しています